9月補正予算

一般会計 特別会計 総額26億2753万円

子育て支援や防災力の強化・誘客促進など

9月補正予算が定例市議会で決まり、一般会計補正額は24億8520万円、累計は1776億6410万円（前年同期比5・44％増）となりました。また特別会計の補正額は、1億4233万円です。

主な事業	
第1次小中学校校舎緊急耐震化	12億1,800万円
道路・下水排水路等整備	3億5,063万円
中央公園改修整備	1億2,471万円
ロープウェイ施設維持管理	1億1,260万円
商店街保育・交流施設整備	8,889万円
北条支所庁舎改修	8,700万円
城山公園整備	2,251万円
㈶松山観光コンベンション協会運営補助	2,109万円
消防施設震災対策	1,584万円
防災危機管理体制構築	1,454万円
中京圏プロモーション	482万円
「瀬戸内・松山」構想推進	314万円

待機児童の解消へ

商店街の空き店舗を保育室として整備し、待機児童の解消を図るとともに一時的な託児や子育て相談を実施し、商店街を利用する子ども連れ世帯の利便性向上を図ります。

災害に強いまちづくり

大規模災害への備えとして小中学校校舎や北条支所の耐震化に取り組むとともに、危機管理と防災の業務を統合した新たな組織を設置するなど防災力の強化を図ります。

市の情報発信と誘客促進

新たな観光客獲得のため広島地域と連携し、瀬戸内海をテーマとした周遊型観光「瀬戸内・松山」構想を展開します。また中京圏に松山の観光や特産品の情報発信拠点を開設するほか、台湾台北市新北投温泉まつりで観光PRを行うなど、国内外からのさらなる誘客促進を図ります。

お問い合わせは、財政課☎948-6350・FAX934-1803へ

平成24年度 競争入札参加者資格審査申請追加受付

11/1～30

市と公営企業局では、建設工事、委託（測量・建設コンサルタントなど）、委託（清掃・警備など）、物品調達など（物品の購入・修繕、製造の請負、物件の借入れ、不用物品の売払い）の、競争入札参加者資格審査申請の追加受け付けを行います。平成24年度競争入札への参加を新たに希望する事業者は、必ず申請してください。すでに資格のある事業者は、資格の種類・業種などの追加がある場合にのみ申請してください。

【資格有効期限】平成24年4月1日～平成25年3月31日（1年間）

【申請方法】11月1日㈫～30日㈬（必着）までに、郵送（一般書留・簡易書留）、または宅配便で、申請書（契約課〈市役所本館9階〉と㈹契約管理課〈公営企業局庁舎4階〉・市ホームページにあり）を〒790-8571契約課または〒790-8590㈹契約管理課へ

※両方に登録する場合はそれぞれに申請が必要。申請書の様式は異なります

お問い合わせは、契約課☎948-6454（建設工事、測量・建設コンサルタントなどの委託）・948-6067（清掃・警備などの委託）・948-6234（物品調達など）・FAX934-1767、㈹契約管理課☎998-9826・FAX948-0335へ

参加者募集

地域で市長と話そう！タウンミーティング

皆さんが住む地域の魅力や課題などを、市長と直接対話するタウンミーティングを開催します。

参加者募集

第13回＝日浦地区

【日時】11月22日㈫19時～20時30分

【場所】日浦生活改善センター（河中町）2階大会議室

【対象】日浦地区に在住または通勤・通学している人

【定員】50人程度

【申し込み】10月28日㈮までに、直接または郵送、ファクス、eメールで参加申込書（市民参画まちづくり課〈市役所本館9階〉・河中出張所・市ホームページにあり）に住所、氏名、電話番号、年齢、性別、勤務先（学校名）、市長と話したいことを書いて、〒790-8571市民参画まちづくり課㊫zichi@city.matsuyama.ehime.jpへ

次回開催（募集終了）

第12回＝立岩地区

【日時】10月18日㈫19時～20時30分

【場所】立岩公民館2階大会議室

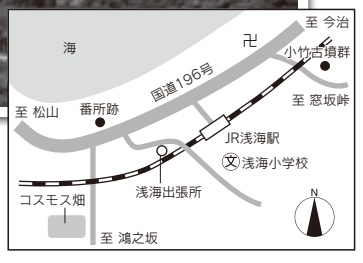
お問い合わせは、市民参画まちづくり課☎948-6383・FAX934-3157へ

魅力を発見 風早 DISCOVER KAZAHAYA

知っトコ！行っトコ！ 風早③ 浅海地区（街道を歩く）

松山と今治の境に位置する浅海地区。松山市内へは海沿いの国道を通りますが、開通するまでは鴻之坂の峠を越え風早平野に抜ける旧街道しかルートがなく、交通の難所でした。今も旧街道を歩くお遍路は、峠から目の前に広がる浅海を見て一息つきます。今回、浅海地区を旧街道の今治側から松山へと歩きます。

鴻之坂から望む浅海地区



番所跡ひっそりと

今治との境、窓坂峠には「従是南風早郡」と記された郡境石が建っています。近くの小竹古墳群からは副葬品「小竹6号墳古墳出土馬具製品一式」が出土し、その中の「鐘形鏡板」は全国でも十数例しかない貴重品で、北条ふるさと館に展示されています。

窓坂峠を西に下り国道を南に進むと、番所跡の碑がひっそりと建っています。昔この場所で、街道を通る人を見張っていました。

50万本のコスモス

番所跡から鴻之坂へ進むと田畑が広がります。この田畑の一部約400平方メートルの耕作放棄地を有効活用し地区を元気付けようと、住民がコスモスの種をまきました。ここを通る人の目を楽しませる50万本のコスモスは10月末が見ごろです。

コスモス畑で絵を描く子どもたち

かつて梨で全国区に

浅海は明治時代に梨栽培を始め、昭和初期、「浅海の赤梨」は伊予の名産品として全国的に人気を博しました。当時、梨の花で白く見えた山々も、今ではみかん畑に。

梨でにぎわったまちの面影の一つに、梨の花をかたどった浅海小の校章が残ります。

わたしの自慢

浅海の歴史を研究する山浦重男さんに浅海の自慢を聞きました。

山浦 重男さん（萩原）

浅海では獅子舞が復活するなど、伝統文化の継承を軸に人のつながりができています。またハイキングコースとして、ぜひ旧街道を歩いてください。すごく景色がいいですよ。